

# 民報 ゆうばり

# 交通問題と通学定期券で市長交渉

## 共謀罪NO！廃案を求める5.14南空知集会に170名の参加！



5月14日岩見沢中央公園で、共謀罪NO！の集会が開催され、170名が集った。

**心の中を処罰する憲法違反の共謀罪NO！テロ対策はウソ！監視社会なんていやだ！**



い、夕張からは19人が参加しました。主催者を代表して岩見沢9条の会代表ト部喜雄さんが「みんな運動を続け、共謀罪を廃案にしましょう」とあいさつしました。

連帯あいさつとして北海道平和運動フォーラム空知地域協議会代表川原直子さん、日本共産党南空知地区委員会委員長上田久司さんが行いました。

また、メッセージは民進党10区総支



部代表神谷ひろしさん、社会民主党北海道連合代表熊谷吉正さんから寄せられました。

特別連帯あいさつに札幌からきた若者グループ「ユニキタ」の佐々木瑛さんが「私は個人の尊厳が

## 「公共交通の充実」と「通学定期券紛失時の保護者負担の撤回」を



5月10日、日本共産党夕張市委員会を代表して、くまがい桂子市議が「公共交通の充実」と「通学定期券紛失時の保護者負担の撤回」について、夕張市に要請書を提出しました。

くまがい市議は「昨年市長は、JR夕張支線の廃線を決め、路線バスやタクシーを含めた公共交通全体の再構築が不可欠であり、補てん型の公共交通から地域が育てる利用型の公共交通へ転換を図る」と述べている。

しかし、今現在、JRやバスなどの公共交通を使って生活する市民にとって、買い物・通院・乗換えて市外にでかけるにも、大変な状況となり、生活が大きく圧迫されているのが実情。また、小学生の通学定期券紛失の際、保護者に最高4万円もの負担を強いることは、初年度から共謀罪に反対です」と訴えました。

その後集会アピールを採択し、デモパレードで市内繁華街を「憲法違反の、共謀罪は、廃案に！」「共謀罪を、テロ対策と、ウソつくな！」などとコールして訴えました。



振興局交渉で発言するくまがい市議。女鹿武国政対策委員長も同席、発言。

5月10日、午後、日本共産党南空知議員団で、空知振興局で地域交渉を実施。くまがい桂子夕張市議は「市の地域交通協議会にかかわっている振興局の職員には、さらにリーダーシップを発揮して市民の公共交通の足の確保に積極的な取り組みを」と養成すると、「関係機関と連携・協力しながら、公共交通ネットワークと地域交通の確保に向け、地域における検討・協議が円滑に進むよう、全力で取り組みたい」との回答がありました。

# 『日本国憲法から考える 沖繩』 ゆうばり集会

沖繩本土復帰記念、題か差別の問題から、日を二日後に控えた、「沖繩は日本であった」5月13日(土)、「明日は日本ではない」と日との平和をつくりだす夕張の会」と「ゆうばり女性9条の会」の共催による『日本国憲法から考える沖繩』ゆうばり集会が、日本キリスト教会・夕張教会(鹿の谷山手)で開催されました。

一部の映画「高江森が泣いている2」の上映のあと、口部では、日本キリスト教団・岩見沢教会の牧師 佐藤幹雄さんによる講演『基地問

題か差別の問題から、後、極東裁判の被告の立場を逃れた昭和田皇が沖繩を差し出した事実」などを出した事実」などに基づいた具体的な資料について話しました。戦前・戦後を通して沖繩が日本の政府に差別され続け、憲法擁護の外におかれている現実から、「日本国憲法に基づいた政治」の必要性を改めて話し合いました。



## くずさんの 夕張歴史散歩(71)

大正10年のたたかい ⑩

激しいたたかいの末かちとった成果につき、各ヤマで勝利の報告会を開き「要求はほぼ入れられた。一名の犠牲なし」とし、坂口・麻生らは帰京します。

### 老獺なり支店長

ところが一転、麻生や坂口が帰ると会社は「麻生、坂口は真相を歪めている。組合を交渉団体とは絶対認めない。処分しないとの意は、一心会の会員だけで、入坑を組合員に阻止されてやむなく入坑出来なかつた者だけ」と新聞発表します。

その上、「結局は麻生も坂口も会社に買収されていた!」との中傷デマが流されました。

「支店長を信頼して一任せよ」というだけで、具体的取り決めのないものをひっくり返すことは、会社にとって簡単なことでした。組合員の間には疑心暗鬼と不信感が生まれます。

### 三輪、赤松の両氏が来夕

事態を重視した夕張連合会は、再び本部に幹部の派遣支援を要請します。急遽3月4日、本部から三輪寿壯と赤松克麿の二人が着山します。

早速翌5日、両名は登川支部の小川、佐々木、篠原、楓支部の小原、金谷の代表と共に、今回争議にかかわった三新聞社の支局長と警察署長訪れ、事の顛末をたどします。翌日6日、警察署長を介して高城支店長に会見を申し入れます。

しかし、支店長は不遜にも床臥中を理由に応ぜず、会見は拒絶されるありさまです。



畠山 和也「国会かけある記」  
衆議院議員

## 畠山 和也

### 食べ物を粗末にするな

原稿を書いている時点で「共謀罪」法案は、まだ衆議院本会議にかけられていません。いずれにしても憲法違反の法案を、このまま可決させるわけにはいけません。廃案に向けて野党四党も共同しています。私も力を尽くしたい。

先日、札幌市で種子法廃止をうけたシンポジウムがありました。主催は「親子で憲法を学ぶ札幌の会」。北海道産農産物のマルシェまで開く力の入れよう、会場もびっしり。私も手作りカレーをおいしくいただきました。

山田正彦・元農林水産大臣に民進党・徳永エリ参議院議員、私も加わったシンポジウムは関心の高さがピンピンと伝わる会場の雰囲気。食と農を営利企業に売り渡す、安倍政権のやり方に多くの方が不安を感じているんですね。真剣な視線とともに、時々聞こえる赤ちゃんの泣き声。参加者は若いお母さんをはじめ、圧倒的に女性が多かつたのも特徴でした。

種子法廃止法案は可決されましたが、どんどん不安の声が広がって、いま農水省は全国での説明会に追われる事態になっています。与党のなかにも「そんな問題があつたのか」と今ごろ慌てている様子も会場から「北海道で、種子を守る会をつくらう」との発言に、共感の拍手が広がりました。

シンポジウム後、主催者のAさんから「これ食べて!」といただいたのは玄米おにぎり。モグモグ食べると、お腹も心も満たされていく感じに。食べ物と確信しました。